

<JMITUホームページ>

「<http://www.jmitu.com>」

<JMITUオハラ樹脂工業分会 Eメール>

JMITUオハラ樹脂工業分会への文書送付、ご意見、問い合わせは「jmitu_aichi@roren.net」へ。

発行所

JMITU（日本金属製造情報通信労働組合）

オハラ樹脂工業分会

〒457-0841 名古屋市南区豊田五丁目17-10

「オハラ樹脂工業分会ホームページ ※組織外、
<http://www.roren.net/jmiu/ojk-union/index.html>」 無断転載禁止

【4月19日団体交渉の議題】

賃金引上げに関する協議

組合側の要求

・2017年以降実施されていない為、7年分を一括で122,500円及び、本年度分（17,500円）を要求。

会社側の回答

・8年連続の「ゼロ回答」。

賃金引上げ8年連続「ゼロ回答」!!

団交拒否・不誠実団交を確認



団体交渉の様子（名古屋笠寺ホテル 会議室にて）

2024年4月19日（金）JMITU愛知支部オハラ樹脂工業分会は、第10回目の団体交渉を、名古屋笠寺ホテル会議室を会場に18時30分から行われました。

会社側交渉委員は、尾原社長、尾関管理部長、石井弁護士、金子弁護士の4名でした。組合側は、朝倉分会長、尾畑、西垣、塚松分会委員、地本・支部から3名のメンバーでした。

冒頭、朝倉分会長から、「先回の団交で会社側交渉委員が会社が決めた時間の30分も前、しかも議題の途中だったにも関わらず一方的に帰ってしまったことは不誠実。」と謝罪を求めたところ、会社側が「今日の議題ではない。お話にな

らない。今日はやめます。」と、席を立とうとしたところから始まりました。

とくに尾原社長は勝手に会議室から出て行ってしまったという、とても団体交渉に應じるという態度ではありませんでした。

組合側は、会社側弁護士に社長を席に着かせるよう求め、約5分ほどで再開にこぎ着けましたが、およそ労働組合法が求める「労使が対等の立場で話し合う」という雰囲気ではありませんでした。

それでも組合は、会社が一方的に議題を「賃上げ要求について」だけに注文をつけていたので、まず、回答を求めたところ、前回と変わらず「ゼロ回答」を繰り返す理由は、「売上高の激減が続いている」、「売上高減少はさらに続くと思われる。増加する見通しはない」、「今の状況は、従業員の皆さんに賃金を払い続けていることすら、よくやっていると思う」、「出費を抑えることが課題で、とても賃上げはできない。」などというものでした。

組合側は、皆さんから寄せられた生活実態を説明し、「7年間も賃上げがされていない。経営者として責任を感じないのか」、「従業員はどうすればいいのか」、「経営者として方針を示すべき。」と求めましたが、具体的な方針は何も示さないばかりか、まるで従業員がルールを守らず、無駄を解決しないかのような言い方をするので、「管理は会社がするべき」、「管理職は社長しかいないのだから、社長の責任。」と指摘しましたが、理解されているのかはわかりませんでした。

そして、いつものように会社側は「時間になった。これ以上議論しても同じ。」と、一方的に退席してしまいました。

会社が、半年や1年ごとに「賃上げも一時金もゼロ」と繰り返し返すだけの団交にしているのは、労働委員会から「団交拒否」と判断されないための「名ばかり団交」にすぎず、到底団交といえるようなものではありません。

分会としては、一層組合員の皆さんや従業員の皆さんの力に依拠しながら打開を図りたいと考えています。

またもや一方的に退席!!